

ハッピーちゃんとおたしの大好きなタイ

Our beloved Thai icons





ナン・ラム
(タイ舞踊の踊り子)
煌びやかな衣装や飾りと
しなやかな動作が特徴の
タイ舞踊。その歴史は
クメール王国から
文化的な影響を受けた
スコタイ時代にまで
遡ることができます。
かつては宮廷内だけで踊
られていたものも、今では
バンコク市中心部のエラ
ワン廟などで信者が
奉納する舞踊などを
常に見ることができます。



ハッピーちゃん

ナック・ムアイ(ムエタイ選手)
タイの国技ムエタイは素手で
戦う世界最強の武術とも言わ
れています。スタジアムでの熱い
ファイトを観戦するのも一興で
すが、最近では男女問わず、
ムエタイ・エクササイズを
トレーニングに取り入れる
のがバンコクでも流行っていま
す。職場のストレスも渾身の
キックでスッキリしちゃう!?

Our beloved Thai icons

出会った人々

今日も一日
幸せに過ごせますように:



プラソン(僧侶)

タイをはじめ、インドシナ半島の国々で信仰される上座部仏教の世界では、僧侶は厳しい戒律を守りながら修行をしています。一般の仏教徒は、こうした僧侶にお布施をし、功德を積むことで心の安らぎを得ることができます。バンコクのような大都会でもいつもより早起すれば、托鉢僧に人々がお布施をする美しい光景を見ることができるはずですよ。



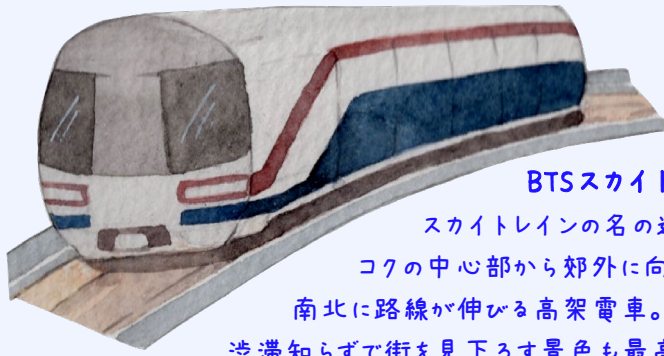
ウィン・モーサイ(バイクタクシー)

渋滞で身動きの取れない道路もスイスイ。
タクシーに乗るほどの距離ではなかったり、約束の
時間に遅れてしまいそうないざという時に
頼りになるのがオレンジ色のベストを着た
バイクタクシーのお兄さん(おじさんの時
も多い)。利用する時には、必ずヘルメット
を着用してくれぐれも安全には
気を付けましょう。

ナック・リアン(学生)

一年中暖かいタイでは学生服
もずっと夏服です。男の子は、
高校生でも刈り上げに半ズボン
という涼しい恰好が定番です。
女の子は可愛いリボンで髪を
結ったりして先生に怒られな
いようにオシャレを楽しみます。
タイでは交通事情などもあって、電車や
バスを使って通学する他に、お父さんや
お母さんが近所のお友達と一緒に車で
送り迎えしてくれる事が多いんですよ。

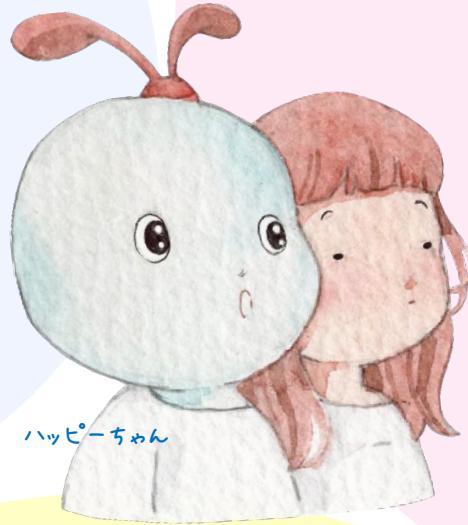




BTSスカイトレイン

スカイトレインの名の通り、バンコク
の中心部から郊外に向けて東西
南北に路線が伸びる高架電車。

渋滞知らずで街を見下ろす景色も最高。他にも
地下鉄や郊外型通勤電車、モノレール、そして空港と市内を結ぶ
エアポート・レイル・リンクなどもどんどん完成していて、乗り物好き
にとっても街歩きの楽しさが膨らみますね。

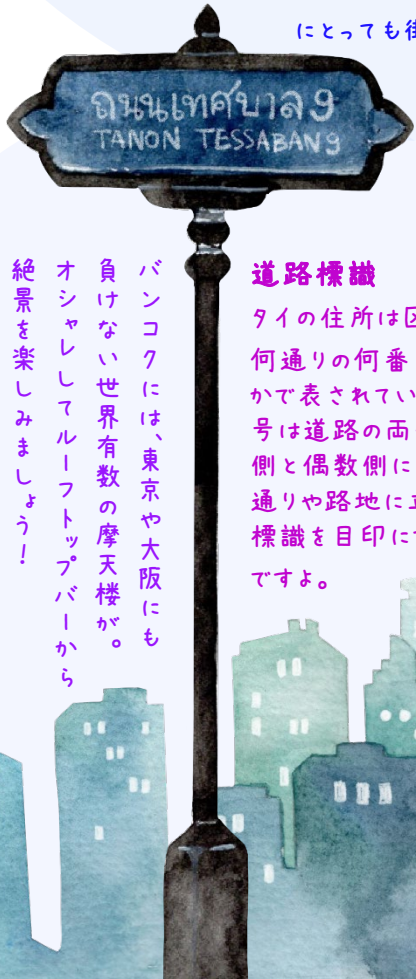


ハッピーちゃん



タイの国旗

街を歩くと必ず目にするのが
3色のタイ国旗。真ん中の青は王室、
白は宗教、そして赤は国民の団結を表しています。
毎日朝の8時と夕方の6時には国歌が流されて、
せわしく歩く人々もピタッと立ち止まって敬意を
表します。



道路標識

タイの住所は区画ではなく、
何通りの何番目のソーイ(路地)
かで表されています。ソーイの番
号は道路の両側にそれぞれ奇数
側と偶数側に分けられています。
通りや路地に立っているこんな
標識を目印にすると便利
ですよ。

バンコクには、東京や大阪にも
負けない世界有数の摩天楼が。
オシャレなルーフトップバーから
絶景を楽しみましょう！

Our beloved Thai icons 街を歩こう



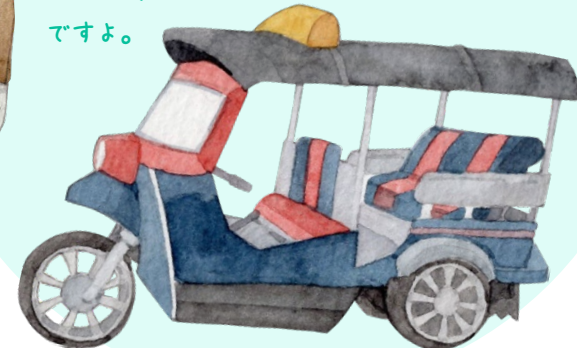
タムルアット(警察官)

炎天下でも大雨でも
いつもご苦労様
です。交差点など
に設置されているスタ
ンドは、警察官のヘル
メットの可愛いデザ
イン。これを見つる
と思わず微笑んで
しまいますよね。



トゥクトゥク

近年、バンコクでは小さいタクシーが増え
ましたが、特に旧市街ではトゥクトゥクもまだまだ
健在ですよ。ちょっとスリリングに熱帯の風を切っ
て町を走り抜ける体験は忘れられないですよ。
「トゥクトゥク」とは、この車独特のエンジン音
から付けられた名称。実は最近では音の
しない電気トゥクトゥクも増えているん
ですよ。





フアンファー(ブーゲンビリア)

南米由来の庭木ですが、ラマ5世の時代(日本の明治時代)にシンガポールを経由してタイにもたらされて以来、タイでも多くの品種が生まれています。ブーゲンビリアは宮殿や庭園をはじめ多くの民家でも大変人気があり、この木を植えると家族の生活に幸福がもたらされると信じられています。



ハッピーちゃん

アンチャン(蝶豆・バタフライピー)

美しい青紫色の花の汁は、タイの料理やお菓子の色付けに使われます。血流促進効果のあるアントシアニンを含み、タイでは昔から髪を美しくしてくれるとして愛用されてきました。ハーブティーとしても人気です。冷たいアンチャン・ティーにレモン汁を絞ると色が涼し気な青紫から鮮やかなピンクに変化するのを楽しめますよ。



リーラワディー(プルメリア)

原産地は中南米ですが、タイでよく目にする庭木です。昔は「ラントム」と呼ばれ、これが「別れを嘆き悲しむ」という意味の単語と音が似ていることから自宅の敷地に植えることを避けられていました。しかしシリキット王太后陛下から「リーラワディー(美しい立ち姿)」という新しい呼び名を授かって

からは多くの人が庭木として

好んで植えるようになり

ました。花が咲くとまるで

香水のような甘酸っぱい

香りが辺り一面に

漂います。



Our beloved Thai icons

タイの花

ドーク・ケム(山丹花)

タイ語で「針の花」を意味するこの花は、多くのタイの家で生垣などに用いられています。この花を植えると「針のように鋭い知性が得られる」と信じられており、毎年の先生や師匠を敬う儀式「ワーイ・クルー」でも奉納されます。花は食用にもなり、てんぷらのようにしていただくこともできます。



ラーチャプルック

(ゴールデンシャワー)

ちょうど日本各地で桜が咲く頃、タイでは一年で最も暑い季節を迎えます。この季節、タイでは国花でもあるラーチャプルックの明るい黄色の花が満開になります。この木のトンネルをくぐると、本当に金色のシャワーを浴びているような美しさです。ラーチャプルックを植えた家は繁栄すると信じられている他、葉も厄払いの儀式で用いられるなど神聖で縁起の良い花木としても古くから愛されています。



プア・ルアン(ハス)

仏教徒の多いタイで、ハスは人々の生活と深く結びついています。仏様へのお供え物としてもハスのつぼみが用いられます。そして、泥の中から生まれながらまっすぐに茎を伸ばし清らかで立派な花を咲かせるハスは、タイの人々に人間としての美しい生き方を教えてくれるものとして尊重されています。



プラ・クルアン(小さな仏像のお守り)

タイでは、小さな
仏像をケースに入れ、
ペンダントにしたものを身に着ける
人が多くいます。この仏像はプラ・
クルアンと呼ばれ、霊験あらたかな
高僧によって力を込められたもの
などはコレクターの間でも大変な
高値で取引されたりします。バンコク
の旧王宮近くタープラチャン市場などに行くと、虫眼鏡を使い真剣な表
情で品定めをしているおじさんたちを目にします。



プアン・マーライ(花輪)

ジャスミンやバラ、マリーゴールドなどの花で作られた花輪は、
タイの日常生活の様々な場面で用いられます。神様や仏様
へのお供え物の他、結婚式などのおめでたい行事、
感謝や尊敬の気持ちを表す贈り物、そしてタクシーや
船頭などにかけられるものもよく見られます。



今日も暑い
ねえ

ヤー・ドム(嗅ぎ薬)

スカッと爽快な香りを嗅ぐことで暑さ
をしのいだり、乗り物
酔いなどを防いだり、タイ
で愛用されるアイ
テムです。昔ながら
の天然ハーブのもの
から、メントール系のモダン
なものまで色々。くれぐれも
鼻の穴に差し込んだまま外を
出歩かせないように。



Our beloved Thai icons

必須アイテム

パット・ロム

(携帯扇風機)

一見冗談のような
このグッズ、実は
街歩きや屋外での
イベントなどで大活躍
するんですよ。皆さんも
おひとついかが？



パー・カオマー

腰巻きにしたり、手ぬぐいにしたり、
頭に巻いて日よけにしたり、とにかく
万能な木綿の布です。可愛らし
い色とりどりのチェック柄が
海外でも注目され、最近
では、ファッションや
ハンドバック、
テーブルクロスなど
その用途がどんど
ん多様化しています。お値段
もお手頃。一枚いかがですか？



ペーン・イエン

(クーリング・シャワーパウダー)

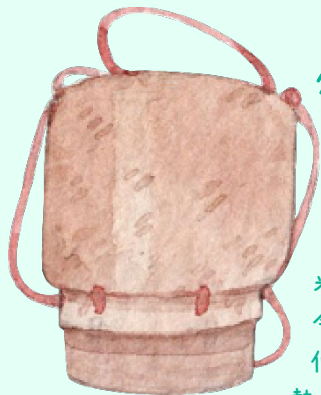
暑いタイではみんな1日に2回
以上シャワーを浴びます。
入浴後にこのパウダー
をまぶせば、クーラー
要らずの冷涼感!
日本の蒸し暑い夏用
のお土産にも一押し。
でも付けすぎると真冬
の寒さになってしまうの
で、気を付けましょう!



**ヤー・カン・ユン
(虫よけスプレー)**

一年中蚊のいるタイでは必
需品です。色んな香りの
ものがどこでも手に入り
ますが、蚊はレモングラ
スの香りを嫌うとされ、
アロマオイルを使うこ
ともあります。





クラティップ (もち米かご)

竹やヤシの葉などを籠状にしたもので、タイではもち米を入れるために今日でも日常的に使われています。

熱帯の国で、炊いたお米が蒸れてしまわないように通気性の良い籠が用いられるのは、まさに生活の知恵ですね。



ハッピーちゃん

モーファイ(火鍋)

食堂や屋外型のシーフードレストランなどでよく見るのがこの真ん中に煙突がある火鍋スタイルです。本来は古代中国の宮廷で使われていたという歴史のあるものです。

お馴染みのトムヤムクンやタイスキもアツアツでいただきます！

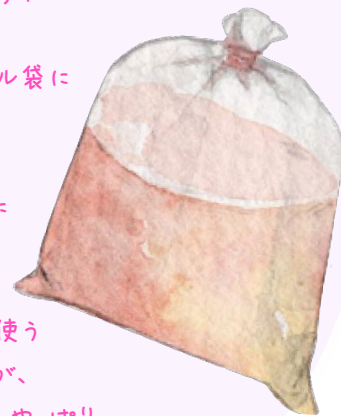


袋入りのおかず

タイの屋台や食堂でお持ち帰りすると、透明なビニール袋と輪ゴムで漏れないように上手にパッキングしてくれます。

屋台では飲み物をビニール袋に入れてストローで吸うスタイルも。

新しく開発された環境に優しい素材や伝統的なバナナの葉などで作った容器を使うお店も増え始めていますが、カレーなどのおかずには、やっぱりビニール袋が大活躍です。



Our beloved Thai icons

ご飯タイム

ピントー

タイ語で「ピントー」と呼ばれるこの容器、実は日本語の「弁当」が語源になっているという説もあるそうです。2〜5段くらいのものが一般的で、通常一番下の段にご飯、上の段におかずを入れて学校や職場に持ってゆきます。レトロで可愛いデザインのものがいっぱいありますから、お土産に買ってみたい方も知れませんか。



クロック

木や石、陶器でできた臼はタイのお台所の必需品。カレーのペーストを作ったり、ソムタム(パパイヤサラダ)を作ったり。唐辛子をすり潰す時は、目に入らないように気をつけましょう！



調味料セット

クイティアオ(麺)のお店などに行くと、テーブルの上にこんな調味料セットが必ず置いてあります。タイでは唐辛子、ナンプラー、お酢、お砂糖などをブレンドして自分の一番好きな味にして食べるのが一般的なんです。「麺類にお砂糖？」と思うかも知れませんが、これが味に深みが出て美味しいんですよ。是非トライしてみてくださいね。





ハッピーちゃんとおたしの大好きなタイ

Our beloved Thai icons

NOT FOR SALE

イラスト: Lekha

(<https://www.facebook.com/lekha.page>)

発行: タイ国政府観光庁